報 (平成二十七年度)

彙

行った。 東洋文化研究所では、平成二十七年度において以下の活動を

○平成二十七年度東洋文化研究所例会

檀林学徒の修学研鑽に関する一考察平成二十八年二月十日

飯高檀林の修学課程を中心に―

身延山大学東洋文化研究所主任 木村中

化研究院と学術交流協定(平成二十七年十一月一日付)を締善身延山大学東洋文化研究所は、大韓民国東国大学校仏教文○学術·交流

を更に検討していくことで一同了承した。者の交換や調査などを通し、研究成果を形に残すような方向り、「代表者会議」を行った。今後、統一テーマを設け、研究会館(東京都千代田区)において両研究機関の代表者が集ま容について、細則や詳細な学術交流内容の確認のため、学士客にかいて、細則や詳細な学術交流内容の確認のため、学士を更に検討していくことで一同了承した。

·参加者

身延山大学東洋文化研究所副主任 金 炳坤身延山大学東洋文化研究所主任 木村中一身延山大学東洋文化研究所長 望月海慧

東国大学校仏教学術院班教授 金東国大学校仏教文化研究院長 金

鐘旭

○第六十八回日蓮宗教学研究発表大会

東国大学校仏教学術院田教授

された。 された。 なれた。 なれた。 でれた。 はかけて、日蓮宗宗務院にて開催 が日(金)から七日(土)にかけて、日蓮宗宗務院にて開催 が日(金)から七日(土)にかけて、日蓮宗宗務院にて開催

・大会役員

問 身正山学園 裁 日蓮宗管長

問 身延山大学長

顧顧

副会長 身延山大学東洋文化研究所長副会長 身延山大学仏教学部長

望月海慧 池上要靖 井上瑞雄

研究発表(本学関係者のみ)

ディーパンカラシュリージュニュヤーナの生死観『法華経』の流通分―諸経典と比較して―円弘注『妙法蓮華経論子注』をめぐる諸問題

章疏目録作成の意義に関する一研究

題 金 炳坤

岡田行弘

木村中一

東洋文化研究所所報第二十号 平成二十八年四月

— 63 —

内野日

総

○ラオス世界文化遺産地域修復プロジェクト

期 間

-成二十八年二月十九日(金)~三月十三日 (H)

二十四日間

場

地域内 ラオス人民民主共和国ルアンパバーン県世界文化遺産

同国ヴィエンチャン特別市

参加者 同国シェンンクワン県

日本側 六名

身延山大学

身延山大学

ジル・エマ・ストロースマン

柳本伊左雄 浜島典彦

身延山大学 身延山大学

身延山大学

特任講師

岡村達人 鈴木義孝

河西竜海

身延山大学

ラオス側 十三名

ニーヴォン

情報文化観光省美術工芸局 課長

ルアンパバーン県情報文化観光省支所

技官

シンテーワ 情報文化観光省美術工芸局

> オラック パイワン シートン

スワンカム カンパン

ソムチャイ

ヴィラバン

カンペット

ソマノ

ピムパー

国立美術工芸大学

国立美術工芸大学 国立美術工芸大学 国立美術工芸大学 国立美術工芸大学 国立美術工芸大学

陶芸講師 塑像講師 木彫助手 木彫講!

師

ルアンパバーン県美術工芸学校 国立王宮博物館 絵画講師 研究員 講師

①仏像修復事業 活動内容

四、

木彫仏四体

鋳造仏四体 (ワットビスンナラート二体、ワットパーオー二体

(ワットパンルアン一体、 ワットアーパイ三体

塑像仏

現地駐在員

四年生 年生

(ワットアーパイ寺院内大仏修復準備

②仏像修復技術者育成事業

情報文化観光省美術工芸局、国立美術工芸大学、ル アンパバーン県美術工芸学校、 国立王宮博物館の技

官・講師・研究員を対象に仏像修復技術指導を行う。

③仏像安置状況及盗難仏調査

仏像目

(二〇〇六年本事業作成) を基として、現在の安

置状況や盗難仏の有無等、 追跡調査を行う。

④仏像修復技法に関する調査・研究

パタイペットの制作方法・材料の調査研

シェンクワン県ワットピアット寺院に現存するパタ イペット仏の調査

⑤ラオス文化財保存センター設立準備

東洋文化研究所役職員(平成二十七年度)

町田是正 宮川了篤、 望月海淑 問

岩田諦靜、

上田本昌、

髙橋堯昭、

長澤市郎

望月海慧

副主所主任任長 木村中一 炳坤

員 楢木博之、 池上要靖、 浜島典彦、 伊東久実、 田沼 間宮啓壬、 朗、 三輪是法 長又高夫

所

望月真澄、 柳本伊左雄

客員所員

吉田永正、 武見敬三、 北村愛子、 岡田行弘、 桑名貫正、小谷みどり、鈴木隆泰、 寺尾英智、福士慈稔、 岡田真美子、加賀美尤祥、 渡邊寶陽、 Jonathan Alan Silk 蓑輪顕量

片山· [由美 天鶴、 Lucia Dora Dolce 木村良勢、佐々木さち子、

研究員

二十号

彙報

植殿伴子、 中井本勝、 庄司史生、 鈴木 村瀬正光、 中野一茂、 都守基一、富山美由紀 永利郁乃、 望月香代、 西 森田麻登 康友、

Emanuele Davide Gilio

Jill Emma Strothman

研究生

鈴木義孝、宮坂葉子、森田信弘、 依田

計

上本妙院第五十九世) れました。ここに謹んで増円妙道をお祈り申し上げます。 池上本門寺第八十四世加歴、 当研究所客員所員 早水日秀先生(常明院日秀上人 大本山 が平成二十八年二月二十二日に遷化さ 本山比企谷妙本寺第八十世、 池

木村中一 (主任 · 身延山大学准教授